

Medical Technology News

臨床検査室新聞

LOOK シックディ



シックディは糖尿病患者さんが発熱や下痢、嘔吐によって、血糖コントロールが著しく困難に陥った状態をいいます。インフルエンザや肺炎などの感染症、下痢や嘔吐などの消化器疾患、外傷、ストレスなどを併発することで起こります。対応を誤ると急速に病状が悪くなったり、場合によっては昏睡を起して、死につながることもあります。このような状態になると、高度な脱水や電解質の喪失を伴うことが多くなります。食欲不振のため食事が減っても、血糖値は高めのことが多くなります。

シックディールール（対応の原則）

- 安静と保温に努め、早めに主治医または医療機関に連絡をする。
- 水やお茶などで水分摂取をして脱水を防ぐ。1日1000ml以上
- 食欲がなくても、お粥、果物、うどん、ジュースなどの炭水化物や糖質のエネルギー源となるものを摂取する。
- インスリン治療中の患者さんでは自己判断でインスリンを中止しない。血糖自己測定をこまめに行う。



皆さん覚えてましたか？「正しい手の洗い方」テレビやネット、ポスターなど多くの場所で見られるようになってますね。コツを覚えてしっかり手洗いを行いウイルスや細菌を洗い流してしましましょう！

しかし、手洗いの頻度が多くなると気になるのが「成分が流されてしまふこと」が原因です。手洗いの後は保湿クリームなどで手荒れから守ることも大事です。

この「手の潤い」に細菌もかわつてのをご存じですか？皆さんの皮膚には皮膚常在菌と呼ばれる数種類の菌が普通存在します。健康な状態ではこの菌がバランスよくいることで悪さをしません。免疫力が弱った状態では悪さをすることがあるので常在菌も注意が必要です。

この代表的な細菌は表皮ブドウ球菌（Staphylococcus epidermidis）で汗や皮脂を分解して「潤い成分」を作ったり、悪い菌が



手を洗おう！手を守ろう！

しゅわしゅわしゅわしゅわしゅわしゅわ

ピッカピッカ

繁殖しにくい成分も作り出して過剰に増えるのを防いでいるそうです。

過剰な手洗いが菌のバランスを崩し手荒れの原因になることがあるので「正しい手の洗い方」でしっかりと手を洗い、そのあとはしっかりとケアをして手を守りましょう。

2020年 5月
第88号
発行元 八雲総合病院
臨床検査室



チェック！



糖尿病と生理検査

糖尿病（Ⅱ型）とは、膵臓から分泌されるインシュリンというホルモンの働きが低下して血液中の糖の量が正常よりも増えた状態のことです。血液中の糖の量が多い状態が長年続くと合併症



である末梢神経・自律神経が障害される神経障害、眼底の血管が障害される網膜症、腎臓の機能が低下する腎症や狭心症・心筋梗塞・脳梗塞・下肢動脈閉塞などの大血管疾患の発生に繋がります。また、各種の癌や認知症の発生にも関係しているといわれています。

生理検査室では、合併症の早期発見・早期治療のために狭心症などの心疾患を調べる心電図検査、動脈硬化・下肢動脈疾患を調べるABI検査、膵臓などの腹部臓器に腫瘍がないか、脂肪肝や胆石などがないか調べる腹部エコー検査を行っています。また、糖尿病の教育入院では、自律神経の状態を調べるCVR検査、末梢神経の障害を調べる神経伝導検査、動脈硬化や脳塞がないか調べる頸動脈エコー検査を行っています。

ほと time

新しい検査技師の紹介 石黒 桃花さん

- ①出身地 ②検査担当 ③趣味・特技 ④好きな食べ物 ⑤好きなタイプ
 - ①滝川市 ②生化・血清学 ③お菓子作り ④うどん ⑤熊（たぐましい人）
- 骨を埋める覚悟で参りました。よろしくお祈りします。

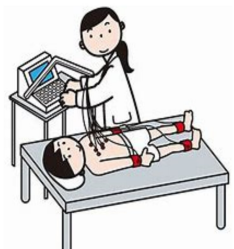


検査の基本

糖尿病に関連した生理検査

CVR検査・心電図を使って心拍数の変動から自律神経の障害を調べる検査です。

ABI検査・両手、両足の血圧と脈波から血管の動脈硬化の進行状態と下肢血管に閉塞や狭窄などがないか調べる検査です。



編集後記

いろいろな制限がある時です。不安な気持ちでいっぱいですがこんな時こそみんなで協力し合い乗り越えましょう！

みんなで心の

手を洗おう！

